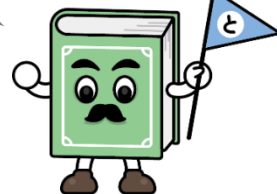


としょえもん



令和 6 年度第 1 号(通巻 46 号)

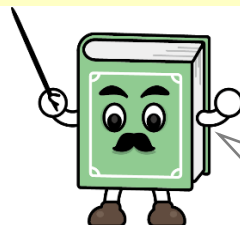
どうしてんけん 「蔵書点検」は何のため？ ～年に一度の大仕事～

蔵書点検とは、図書館の本が

- ・ データと合っているか(貸出中以外の本がそろっているか)
- ・ 正しい場所にあるか
- ・ 壊れた本がないか

などを点検する作業のことです。

公共図書館は 1 年に 1 回、約 1～2 週間休館して行っていますが、学校図書館でも同じように毎年、休館して作業をしています。約 10,000 冊の本を点検するため、作業には学校司書、教職員、図書委員、ボランティアなどたくさんの人が関わります。



蔵書点検をすることによって、ちゃんと本があるかどうかがわかるんだね。

<蔵書点検の様子>

ペン型の「ハンディターミナル」を使って、1冊ずつバーコードを読み取っていきます。

壊れている本やバーコードなしの本があった場合は抜き取ります。



↓ハンディターミナルでバーコードの読み取りをします。



↑しゃがみ作業が続きます。



↑ 複数人で手分けしてバーコードを読み取っています。(写真:第二小学校)



↑ ハンディターミナルで読み取ったデータを図書館システムにつなぎます。



図書館システムが入る前は、何千冊もの本を、紙の図書台帳を使って 1 冊 1 冊確認していたんだって……。蔵書の管理がシステム化されて便利になったんだね！



バーコードを読み込んだら、図書館システムの蔵書のデータと照合し、実際の所蔵状況と合っているか確認をします。所在が確認できなかった本について、本棚のすきまや後ろ、図書館以外の場所も探します。最終的に見つからなかった本を「不明図書」として確定し、リストにして校内で情報共有します。

こうして、学校図書館の蔵書は正しい状態に整います。
使いやすい図書館にするために、年に一度の蔵書点検は大切な作業です。

学校図書館の強い味方—公共図書館

↓中央図書館の奥にある、学校貸出専用の書庫



授業で本を使って調べ学習をしたい。学級文庫の本がほしい。でも、学校図書館の蔵書だけでは、限りがあります。

そんなとき、強い味方になってくれるのが、公共図書館。八王子市では、必要な本をセットにして、学校へ貸し出してくれるサービスを行っています。



↓ 週に1回、学校へお届け



← 授業の単元ごとに本が並んでいます。



↑ 届いた本を使って授業（昨年度みなみ野小1年生）

「授業で習った作家の作品を読み比べることができた」「本がクラスの人数分そろっていて、一人ひとりじっくり調べられた」など、学校では利用されています。学びを深めるために、公共図書館の協力は欠かせません。

学級文庫は学期ごと、授業用の本は小学校で2週間、中学校で4週間利用できるよ。



教えて

校長先生！おすすめの本はなんですか？

八王子市立第四中学校
校長 北川 大樹

『カーテンコール！』
加納朋子／著
新潮社



「慌てなくていい、心の準備が整いさえすれば、いつでも戻ってくることはできる」

幕が下りた、私はもう終わった…そう思っていたけれど、その先に本当の「自分を生きる」人生の入り口が待っていた。萌木女学園での特別補講を通して、「ワケあり」女子たちの傷ついた心が癒されていく。

そして卒業式。（以下、本編より）～若い人が向き合うべきは、未来の自分です。十年先、二十年先に自分がどうなっているか。どうなりたいか。すぐには答えが見つからなくとも、考え続けるのをやめないで下さい～

八王子市立元木小学校
校長 寺本 英雄

『おこだでませんように』
くすのきしげのり／作
石井聖岳／絵 小学館



子どもの成長のために、子どもの将来のために…と大人は子どもを叱ります。時に応じて叱らなければならないこともあるかもしれませんが、その行為がパフォーマンスであれば「叱る」ですが、感情的になってしまえば「怒る」になってしまいます。

この絵本の主人公「ぼく」は、家でも学校でも、先生からも、おかあちゃんからも、いつでも、「ぼく」だけが、怒られてばかりです。そんな「ぼく」が、七夕の短冊に書いた願い事は…。

令和6年度「図書館を使った調べる学習コンクール」
応募期間：9月2日(月)～9月30日(月)
応募先：学校図書館サポートセンター
詳細は右記までお問い合わせください。

発行：令和6年(2024年)7月1日
八王子市教育委員会教育指導課
学校図書館サポートセンター
問い合わせ：電話
042-664-1193

